

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

15日は、2023年度の年金の支給日だった。厚生年金や国民年金は、4月分から年金支給額が増額との情報だったが、物価高騰の

現状の中で年金からは介護保険料・国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・所得税・住民税などが天引きされて、手取り額の少なさに改めて考えてしまう。もし家族の一員が死去し、年金受給額がなくなったらと考えると、家族全員が長生きをしないとは考えてしまう。独居老人の年金制度の在り方が今のままで良いのだろうか。標準夫婦での年金制度設計が、高齢化社会に対応できているのかの論議を望むばかりだ。

また今後年金を受給予定している皆さんにも、年金からの天引き内容が将来追加しないとは断言できない今だからこそ、年金受給時の支給額と手取り額は違ふことを前提に老後設計を考えるべきだろう。

老後の生活設計で年金制度の熟知は欠かせない

2025大阪・関西万博を運営する日本国際博覧会協会は、万博入場券の基本料金を大人7500円に、来場者数を当初予想より216万人と上方修正した。万博に行ってみただと思っていたが、人氣テーマパークに匹敵する入場料により赤字などで負のイベントにならないかと心配になる。ただ、この時期に大北地域への誘客には付加価値を創ることで影響を最小限にする希望が出てきた。場当たり的な企画ではなく地域の魅力を最大限生かす取り組みに期待したい。

二十四節気で「夏至」の頃になった。1年で一番昼が長く、夜が短くなる頃だ。この頃から徐々に梅雨明けに向かっていき、盛夏に進んでいくのだが欧州連合の気象情報機関は6月上旬の世界の気温は、この時期としては記録的な高さだったと発表。中国北部は最高気温が局所的に40度を超え、6月としては記録的な猛暑だったとの情報だ。これからの日本の夏の気象状況が気になることろだ。今月初旬に気象庁は、南米ペルー沖の海面水温が高くなり、世界的な異常気象の原因とされる「エルニーニョ現象」が発生したとみられると発表した。夏の発生は2015年以来8年ぶりだ。日本は冷夏になる事が



白馬村壮年ソフト春季大会で80歳到達者の表彰者も大会当日には大活躍だった

多いが、まだ「ラニーニャ現象」の影響が残り、夏は暑くなる見通しで冬も暖冬になる傾向との見解だ。暖冬を想定した取り組みは、今からでも遅くはないだろう。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)